

# プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2010年4月30日】

団体名:NPO 法人 自立生活センター・立川

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

韓国チェジュ島の取り組みから学ぶ、障害者による障害者のための学ぶ場作り

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

応募申請書に記載のもので可。

障害者の地域での自立生活が謳われて久しい昨今、確実に施設や親元から、地域で自立生活を行う障害者が増えている。それまでの乏しい教育や体験を補うための場の確保が必要である。

障害者はこれまで就学免除など教育を受ける権利が与えられず、またバリアから社会経験を得る機会も奪われてきた背景がある。同じ背景を持つ仲間とともに、必要なこと、学びたいことを学ぶことで、安心した学ぶ場を作ることが可能となり、よりその人らしい自立生活を創造できるようになると考える。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

日本の障害を持つプロジェクト参加者が、チェジュ自立生活センターを訪問し、夜間学校での取り組み経過、内容、効果の把握を目的とし、見学、交流、研修会を開催する。その上で、日本にてチェジュ自立生活センターでの夜間学校の取り組みを参考に学ぶ場を検討し、試行的に開催する。(3回以上)

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

### チェジュ研修について

チェジュ自立生活センターの活動(夜間学校)だけではなく、それが生まれてきた背景、またその効果を把握するため、他の障害者に向けた事業の見学、また、直接地域の重度障害者へのヒアリングの場を設定した。

### 学ぶ場開催について

言語障害を持ち、トーキングエイドを利用する重度障害を持つ参加メンバーに向けて、他の参加メンバーと対等の場を作るため、発言時間の調整や補足説明のため別の場を設けた。

参加メンバーで決めたテーマから、各自の生活に引き寄せて考えられるものだったため、「今後の生活に活かせる」時間をつくる事が出来た。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回のプロジェクトを通し、チェジュの障害を持つ仲間から得た事は、自分達が学びたいことはどんな方法でも学び得る、という強い情熱でした。

そこから参加メンバー達も強い刺激や、学ぶ場を作る動機をしっかりと得ることが出来、「学びたいこと」から「知りたいこと」「みんなに)伝えたいこと」「(地域生活で)活かしたいこと」と各自の中で広がっていきました。

最終的には学ぶ側(受身)だけでなく、伝える(主体的な)側にまわる場面もあり、主目的の「その人らしい自立生活を創造できるようになる」というプロジェクト内容に至りました。今後は更に「学んだことを伝える」というポイントで検討したいと思います。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

参考写真



夜間学校の取り組みについて説明を受けている場面（自立生活センターチェジュの一室にて）



韓国の障害者リーダー達とのシンポジウムの様子



学ぶ場開催にあたり、日本、韓国の障害者のこれまでと今を振り返り、まとめている様子